



あましみかんをおなかいっぱい

伸陽会でミカン狩り・85人が参加

伸陽会（小林伸陽後援会）恒例のみかん狩りツアーが22日に行われました。辰野町、箕輪町、南箕輪村などから大型バスとマイクロバス2台に分乗し85人が参加しました。暖かい日が続く天候でみかんの熟度が進み例年より半月ほど早い収穫になつていとの事、木からとつたみかんを口にしたら皆さんからは「今年のみかんは甘いなー」の声、おなかいっぱい食べながらお土産用のみかんも採りました。

みかん狩り終了後はラグーナ蒲郡で昼食とお買いものを行い帰路につきました。車中では小林県議から

第8回議会報告会に参加

11月13日議会報告会が開催され役場第6会議室いっぱいの参加者でした。6月と9月の定例議会報告と二つの常任委員会の活動報告、質疑応答のあと、二つのテーマ「辰野町の産業・観光について」と「地域医療について」の分科会が行われ、「地域医療について」の分科会は『辰野病院の在り方第1と川島診療所の在り方について』のサブテーマで意見交換がされました。辰野病院はかつては16

人の医師体制であったが今は半分の医師で運営と経営努力がされていること、また開業医の先生からは開業医も6軒7名しかないない、先生方も高齢化している、産科においては里帰り出産の困難さなど医療過疎ともいえる話も出されました。他の自治体と比べ少ない先生方が町民の健康や命の守り手としての厳しい仕事をされている実態とご苦労を感じました。安心信頼の町立病院を町民でどう発展させていくのか、医師確保にあらゆる努力をすべき、いい病院に環境整備ボランティアもしている、人工2万の公立病院の厳しさがある、診療所についても利用している方々が困らない工夫や知恵を出すべきなどと多くの意見が出されました。国の医療費削減政策の中、厳しい医療状況が生まれていることを改め考えさせられました。

11月13日議会報告会が
開催され役場第6会議室い
っぱいの参加者でした。6月
と9月の定例議会報告と二
つの常任委員会の活動報告
質疑応答のあと、二つのテ
マ「辰野町の産業・観光に
ついて」と「地域医療につ
いて」の分科会が行われ、
「地域医療について」の分
科会は『辰野病院の在り方
第1と川島診療所の在り方
について』のサブテーマで
意見交換がされました。
辰野病院はかつては16
人の医師体制であったが今
は半分の医師で運営と経営
努力がされていること、ま
た開業医の先生からは開業
医も6軒7名しかないない、
先生方も高齢化している、
産科においては里帰り出産
の困難さなど医療過疎とも
いえる話も出されました。
他の自治体と比べ少ない
先生方が町民の健康や命の
守り手としての厳しい仕事
をされている実態とご苦労
を感じました。
安心信頼の町立病院を町
民でどう発展させていくの
か、医師確保にあらゆる努
力をすべき、いい病院にと
環境整備ボランティアもし
ている、人工2万の公立病
院の厳しさがある、診療所
についても利用している方々
が困らない工夫や知恵を出
すべきなどと多くの意見が
出されました。

東京の明治大学予科の学生が勤労奉仕で各家庭で寝食を共にし道路工事や田の土手の修理など慣れない手つきで作業をした。わが家にも3人、私は大変可愛かった。わがい別れが辛かった。10日位いただらうか、今でも名前を覚えてる。彼らは学徒兵になつてしまったか知りた。4年生の頃は毎日どんぐり拾い。アカソを刈り取り供出、栗イガも拾い供出、わが家の大切な農耕馬も軍馬として供出、でもお国の為、悲しいと言つてはいけな時代であった。昭和20年5年生の時は学校の平地を耕し馬鈴薯の植え付け、毎日毎日お国の為の奉仕、ノミ、シラミが蔓延した。「贅沢は敵だ」「欲しがりません勝までは」の貼り紙が目についた。日本は負けているのに報道は勝っているような感じ。食べ物はやもぎ、栗入りごはん、南瓜のすいとん、サツマイモの細いのまで茹で干し食べた。広島、長崎に原子爆弾が落とされ日本全土壊滅状態になり玉音放送で終戦を知った。1年間に先生は3人も変わった。北大出80歳 女性 (終)

豊南短大前で宣伝行動

18歳選挙権を受け若者にチラシを配布

と争 戦時下の生活(2)

私戦③

★今後の日程

- 12月1日 議会12月定例会
本会議開会
- 8・9日 一般質問
- 10・11日 常任委員会
- 15日 本会議 閉会
- 12月6日 上伊那平和集会
小森陽一講演会
伊那文化会館
- 12月20日 日本共産党演説会
南箕輪村公民館